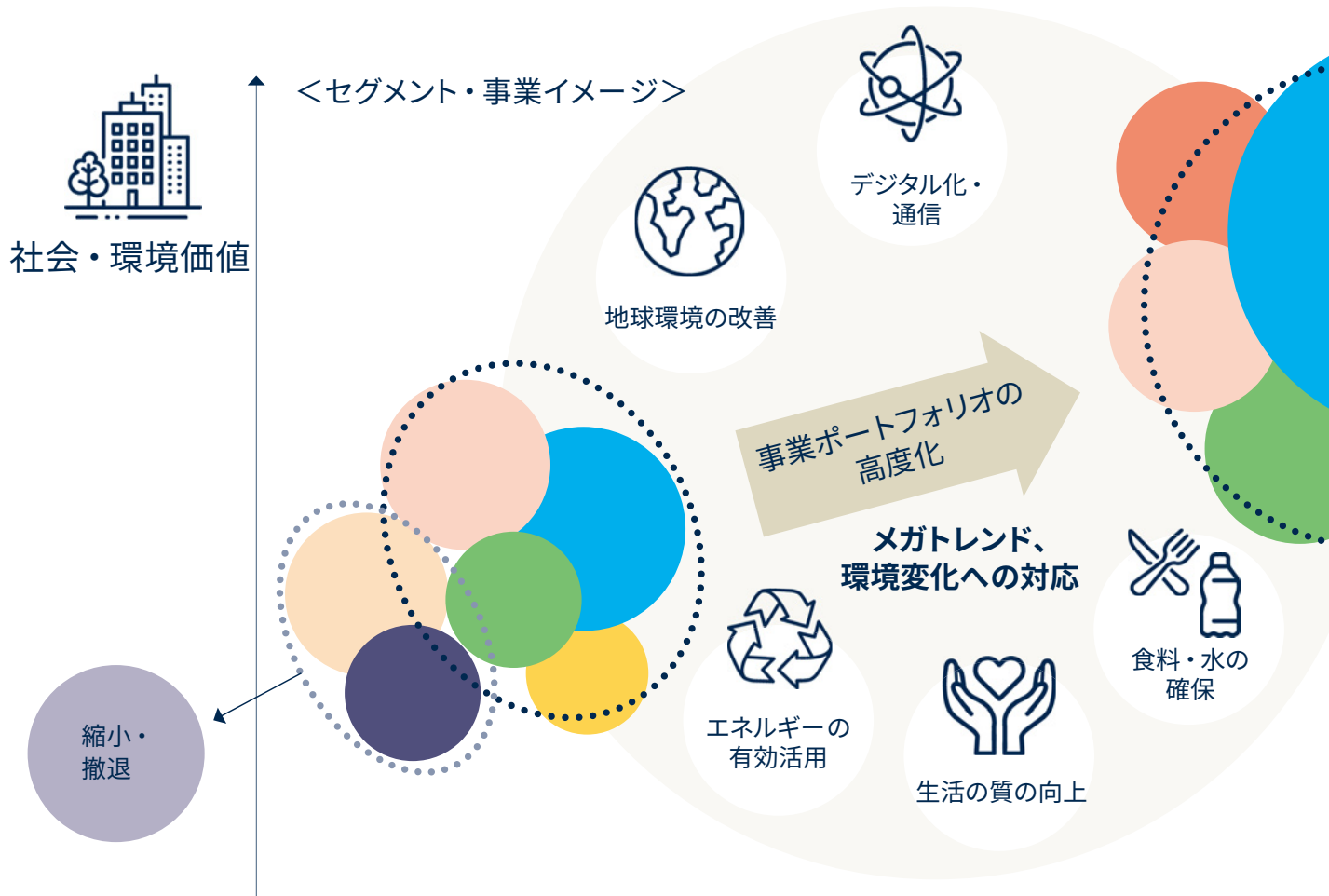


持続的な成長に向けた ポートフォリオの高度化



ターゲット領域の設定

クラレグループの製品・技術・サービスと5つのメガトレンドを照らし合わせ、解決すべき社会的課題を明確化し、ターゲット領域として設定しました。これらの領域に対し、当社が従来から有するソリューションだけでなく、顧客との協業を通じてイノベーションを創出し、貢献していきます。

メガトレンド	地球環境の改善	食料・水の確保	デジタル化・通信	エネルギーの有効活用	生活の質の向上
ターゲット領域	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 水・大気の浄化 ◆ マイクロプラスチック低減 ◆ サーキュラーエコノミー ◆ GHGの捕捉、利活用、排出量低減 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ フードロス削減 ◆ 農業生産性の向上 ◆ 安全な水の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 電気・電子機器材料 ◆ 高速通信機器 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 蓄電デバイス向け材料 ◆ エネルギー関連材料 ◆ 電気・電子デバイス材料 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 健康、ヘルスケア ◆ 美容、生活用品 ◆ 室内・車内環境向上

クラレグループは、「私たちの使命」のもと持続的成長を遂げていくため、メガトレンドに沿って解決すべき社会的課題をターゲット領域として設定しました。また、「社会・環境価値」「経済的価値」の2軸で事業評価を行い、状況に応じ、積極的な拡大、維持、あるいは縮小、撤退を判断します。成長性の高い事業・製品に重点的に資源配分を行い、強固な事業ポートフォリオの構築を目指します。

拡大事業、製品

「地球環境の改善」をはじめとするメガトレンドや環境変化に対応し、当社グループ製品の活躍する用途、地域など構成の組み換えを続けていくことで、セグメント・事業を拡大させ、事業ポートフォリオを高度化します。

経済的価値

事業評価基準(収益性・効率性)により毎年評価

「社会・環境価値」「経済的価値」評価

事業・製品の「経済的価値」については、稼ぐ力(OCF:営業キャッシュフロー)と効率性(ROIC:投下資本利益率)の2つの指標を用いる「事業評価基準」で評価を行っています。また、「社会・環境価値」評価には、欧州の化学メーカーでも導入が進む、WBCSD^{※1}が定めた客観的な製品ポートフォリオ評価指標であるPSA^{※2}を採用しました。(▶▶P.17)

これら2軸での評価・スクリーニングを継続することで、環境や社会の変化に適応していくとともに、機会の積極的な創出やリスクへの適切な対応につなげていきます。

※1 World Business Council for Sustainable Developmentの略。持続可能な開発のための世界経済人会議。
※2 Portfolio Sustainability Assessmentの略。

「PSAシステム」については、ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.kuraray.co.jp/csr/report2022/psa>

資源配分を重点的に行う主な事業・製品

自然環境の向上



生活環境の向上



水溶性ポパールフィルム

欧州生産拠点の着実な立ち上げと需要拡大に対応したさらなる生産能力の増強

地球環境の改善 生活の質の向上

EVOH樹脂(エパール)

食品包装用途の需要拡大に対応した安定供給体制構築に向けた、アジアでの新プラント建設

食料・水の確保

炭素材料

GHG排出量削減への新技術、関連材料の開発、サーキュラーエコノミーに貢献する再生炭ビジネスの拡大

地球環境の改善 食料・水の確保 エネルギーの有効活用

歯科材料

ジルコニアを核とするCAD/CAM材料のさらなる拡大を目指し生産能力の増強

生活の質の向上

高機能プラスチック (〈ジェネスタ〉、〈ベクスター〉など)

・〈ジェネスタ〉
軽量化・電子制御化・EV化によりグローバルに市場が拡大する自動車部品用途への対応など、タイ拠点での第2期増設の検討

・〈ベクスター〉
通信の高速化による需要拡大に対応するため、増設の検討

地球環境の改善 デジタル化・通信 エネルギーの有効活用

光学用ポパールフィルム

需要拡大および市場の中国へのシフトを的確に捉えた生産販売体制の強化

デジタル化・通信 生活の質の向上